

食堂料金改定（原子力科学研究所）

昼食の定食 300 円に

6月30日の窓口交渉で、機構は、原子力科学研究所の食堂料金の改定をする旨を通知してきました。組合への説明では、メニューや調理方法の努力でこれまでの料金で提供していたが、もともと必要栄養素量がギリギリのところを、食材費の値上がりなどで困難になっており、値上げせざるを得ないところにきているとのことです。昼食の定食がこれまで200円だったものを300円にしたいといっており、100円の値上げになります。「現在の水準を維持するだけなら250円への値上げで済むが、必要栄養素を確保し、またメニューを豊にするため、それから早い時間に品切れにならないようにするためにも300円にしたい」とのことです。実施は麺類を除いて10月1日から、麺類は7月1日からです。

給食は材料費を利用者負担、まかないの人件費、光熱費を機構が負担するという原則で供給されてきました。この原則は変えないと言っています。これまで、東海の原子力科学研究所と那珂研の食堂の業者が同じだったため、一括購入で節約できていた部分などから材料費に回せる余裕がなくなっているそうです。

労組は職員の厚生処遇の一環として、材料費の不足部分は機構が負担することで値上げしないことを求めます。しかし、「材料費は利用者負担」という原則が変えられないのであれば一定の値上げはやむを得ないのかもしれないという考えもあります。

近年の原研の食堂は、メニューや味に努力が見えており、栄養士や調理士の皆さんが、かつては原研の直接雇用から原子力弘済会への移動、さらに別会社へ移籍して続けざるを得なくなった悪条件のなかでの尽力には感謝しています。

7月4日の中央執行委員会の議論では、「多少貧弱でもよいから今までの値段で食べたい人もいないのではないかと。それを選択できるようにしては」などの意見がありました。組合員の皆さんの意見を求めます。

原子力科学研究所食堂料金の改定

		現料金*	改定料金
定食 1F	朝食	150円	200円
	昼食	200円	300円
	夕食	250円	350円
自由食	定食	150円～250円	200円～
	カレー	150円	180円
	ラーメン	150円	180円
	うどん、そば	150円	150円～180円

改定実施日：10月1日

ただし麺類は 7月1日から

*現料金は昭和53年に改定されたもの

機構が説明する価格維持が困難な理由

- 1、小鉢がつけられない。
- 2、お米（現在コシヒカリ100%使用）の確保ができない。
- 3、栄養の確保が難しい。
乳製品・フルーツがつけられず、カルシウム、ビタミンが不足している。
- 4、野菜、米の相場変動への対応が困難。
- 5、魚介類の価格が高騰している。
- 6、調味料が値上がりしている。
- 7、肉、野菜の蛋白源の使用量をこれ以上減らせない。
- 8、13時まで定食を提供することが求められており、
そのためには若干のロスを見込まなければならない。

給与水準公表される

6月30日、独立行政法人などの給与水準が一斉に公表されました。原子力機構の給与水準については、機構のホームページを開いて、発表→お知らせ→財務情報の中に掲載されています。総報酬額については半年分で掲載されている欄もあるのでご注意ください。